

会社概要

2016年3月31日現在

商号 テクノホライゾン・ホールディングス株式会社
(英文名: TECHNO HORIZON HOLDINGS CO., LTD.)

設立 2010年4月1日

事業内容 テクノホライゾングループの事業内容は「光学事業」と「電子事業」に分類され、テクノホライゾン・ホールディングス株式会社は傘下の事業会社の経営管理を行っております。

所在地 〒457-0071
愛知県名古屋市中区千種通(チカマトオリ)二丁目13番地1
TEL. 052-823-8551(代)

代表者 代表取締役社長 野村 拓伸

資本金 25億円

従業員数 9名(連結1,059名)

主要子会社

| | |
|------|--|
| 光学事業 | 株式会社エルモ社 株式会社S UWAオプトロニクス |
| 電子事業 | 株式会社タイテック 株式会社ファインフィットデザイン 株式会社中日電子 株式会社グラフィン |

(注1) 4月1日付で株式会社SUWAオプトロニクスは株式会社中日諏訪オプト電子へ商号変更いたしました。

(注2) 4月1日付で株式会社ファインフィットデザインは株式会社エルモ社へ吸収合併いたしました。

(注3) 4月1日付で株式会社グラフィンは株式会社タイテックへ吸収合併いたしました。

ホームページ <http://www.technohorizon.co.jp>

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

テクノホライゾングループ第6期(2015年4月1日から2016年3月31日まで)の報告書をお届けするにあたりましてご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の追加金融政策等が実施される中、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、中国を始め新興国や資源国経済の減速が鮮明となり、年明けからは円高が急速に進むなど、先行きは不透明な状況にあります。

このような経済状況のもと、「教育」「FA(Factory Automation:工場自動化)」「医療」「安全・生活」分野を重点市場とし光学事業と電子事業を融合したユニークな企業グループとして事業拡大を図っております。また、連結子会社の吸収合併等再編を進め、より経営効率の高いグループ連結経営へとベクトルを統一させ、企業価値の最大化を図っております。その結果、当社グループの業績は、売上高21,115百万円(前年同期比1.2%減)となりました。利益面ではグループ内組織再編を機に、事業の選択と集中を更に推し進める中、事業計画を見直し、光学事業プロジェクト部品及び電子事業における自主企画製品の評価を保守的に見直し、当第4四半期会計期間にて301百万円の棚卸資産の評価損を計上しました。それにより、営業損失39百万円(前年同期は営業利益72百万円)、経常損失118百万円(前年同期は経常利益315百万円)となりました。親会社株主に帰属する当期純損失は278百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益120百万円)となりました。

なお、今後も更なるグループ内組織再編を進め、選択と集中による経営効率を高める活動を進めてまいります。

株主の皆様には引き続きテクノホライゾングループへの変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

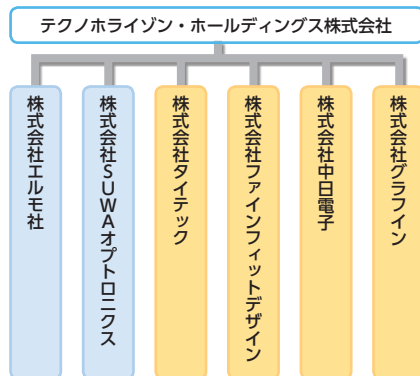


代表取締役社長 野村 拓伸

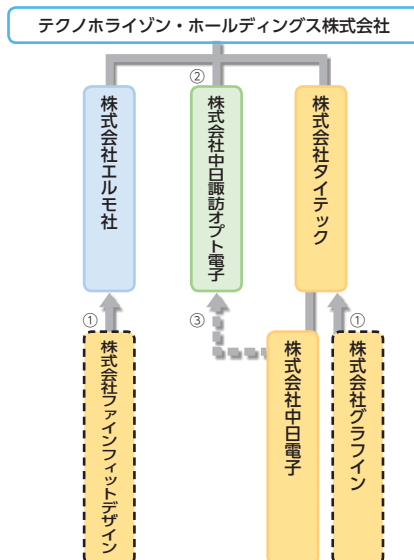
組織再編による更なるシナジー(2つ以上の要素を結びつけて、相乗効果を出すこと)の追求へ

光学技術と電子技術の融合、事業の選択と集中、製造の効率化、間接費用の削減による企業価値の向上を図るため、以下の子会社再編を行います。

再編前



再編後



- ① 吸収合併(4月1日)
- ② 商号及び本店所在地変更(4月1日)
- ③ 医療事業を吸収分割(7月1日)

青: 光学事業
黄: 電子事業
緑: 光学事業+電子事業

※今回の再編に関係ない子会社は省略しております。

テクノライゾングループの動き

教育

タブレット端末時代の次世代型書画カメラ WiFi書画カメラ TX-1

ELMO
— SINCE 1921 —

年々変化が進む学校教育における次世代ICT環境（児童生徒一人一台端末が配布され、ワイヤレス接続などの無線LAN設備が必要とされる）との親和性・接続安定性を強化し、また省スペース&レイアウトフリー、省配線が特徴の新型書画カメラです。使いやすさ、操作性、画質など基本性能が向上しました。



中国現地企業向け光学ユニット

CHUNICHI SUWA
OptoElectronics

これまで培った光学技術を活かし、中国現地企業向けに仕様を合わせ各種プロジェクト光学ユニットを販売しています。

中国市場で注目されている監視用の超薄型多面マルチモニターなどに利用される等、製品ラインナップも増やしています。



FA

レーザー加工設備用 レーザービームエキスパンダ

CHUNICHI SUWA
OptoElectronics

光学技術と鏡筒加工技術を応用したレーザービームエキスパンダです。特殊なレンズを組み合わせた高い精度を実現する一方、耐久性もあり、レーザー加工機がレーザーを一定の倍率に広げる時に使用されます。



ロボットコントローラ TRC-1200 (1軸仕様) ロボットコントローラ TRC-2500 (3~5軸仕様)

TIETECH

日本はもちろんのこと中国においても人件費高騰から、工場での省力化ニーズは年々高まっています。中国市場向けには、現地ニーズにあわせ機能を絞った廉価版を発売しています。ロボットコントローラTRC-1200及び2500はスカラロボットや小型簡易ロボットのコントローラとして用いられています。



IoTの時代到来と取り組み

TIETECH

IoT (Internet of Things:ものインターネット) の時代が到来し、世界の製造業やサービス業のスタンダードがガラリと変わる可能性が出てきました。タイテックでは、2014年より製造工程や効率の「見える化」プロジェクトを推進し、他方、2010年に導入したERP (SAP) で醸成される経営データ・業務データを情報活用すべく、取り組んでまいりました。「経営データ (ERP)」「現場データ (モノ=センサー、人=作業実績)」「現場責任者による管理データ」を収集し、それらビッグデータを分析することで、月次ではなく、リアルタイムマネジメントデータとして提供し、問題の見える化と改善・予防を進める事業化に着手しました。IoTを新しい未来に向けた事業領域として取り組むべく2016年4月に名古屋で開催された設計・製造ソリューション展に参考出品し、製造業が集積する中部圏において取り組みをアピールしました。



医療

業務用水素ガス発生装置

東亜電機

精製水を電気分解することで、純度99.99%の水素ガスを発生する卓上型水素ガス発生装置の業務向け版で (健康サロンなどで使用)、1台で同時に2系統の水素発生を可能にしました。メンテナンス性の向上のため、精製水の補充などが容易な構造となっています。



※当機器は医療機器ではありません。

眼鏡レンズの読み取り装置向けに 光学モジュール提供を開始

CHUNICHI SUWA
OptoElectronics

眼鏡レンズの読み取り装置向けに光学モジュールの提供を開始いたしました。本製品は、レンズ情報取得において従来のレンズメータでは煩雑な操作や測定時間がかかるなどの課題が解決されています。当社光学技術がキーパーツとして活用され、信頼性の高い製品となっております。



安全生活

クラウド録画型 防犯カメラ QBIC CLOUDシリーズ製品 「あんしん保証 (3年・5年) サービス」開始

ELMO
— SINCE 1921 —

カメラとスマートフォンで誰もが手軽にご自宅や店舗等を遠隔から見守れる超簡単防犯カメラは、これまで以上に「簡単に」、「高性能・高機能を安心して」、生活を見守る大切な防犯カメラとしてお使いいただけるよう標準保証期間を最長5年まで延長する「あんしん保証サービス」を開始しました。

- ・QBIC CLOUD CC-1 : 3年
- ・QBIC CLOUD CP-1 : 5年 (S、W 両モデルともに)



車載カメラ用超広角レンズ対応 6軸AA装置 AAM-1800

TIETECH

GRAPHIN

安全性向上に高精度・高信頼が要求される車載用カメラモジュール向けの6軸の光軸調整装置です。超広角～魚眼レンズ用に新規開発したフォーカススキャンユニットをコアとした装置で、レンズと画像センサーを短時間で精密に調整する装置です。



パノラマ動画撮影用カメラ QBIC CS-1

ELMO
— SINCE 1921 —

小型高性能カメラQBIC MS-1Xをベースに、ユーザーがお好みのレンズを装着して使用できるようスクリュー型のマウントを搭載したQBIC CS-1は、対角185度を超える魚眼レンズなどの装着が可能となりました。QBIC CS-1を2台使用して、360度全天球パノラマ映像などの撮影ができます。



FullHD高画質テレマティクス ドライブレコーダ THD-501

ELMO
— SINCE 1921 —

Finefit Design

高解像度の画像是勿論、新たにICカードリーダー (NFC) 機能を搭載。ICカードをかざすだけでドライバを識別、内蔵の携帯電話モジュールでクラウド一元管理することができます。営業車、トラック等、業務用車両の安全、エコ管理を更に効率よく実現します。



監視カメラ用レンズ

CHUNICHI SUWA
OptoElectronics

監視カメラは、年々高解像度のものが求められており、メガピクセル対応レンズや4K対応超広角レンズの開発力を入れています。監視カメラ以外でも車載器やFAなど様々な分野でも使用されています。



自動運転研究開発用 非圧縮映像録画・再生装置

TIETECH

GRAPHIN

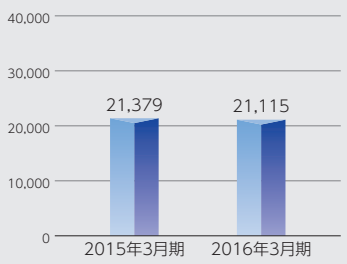
車載カメラからの映像を非圧縮で高速に録画する装置です。映像に同期してGPS、CANデータも記録することができます。また、再生装置として録画データを利用して自動運転車などの開発に貢献いたします。



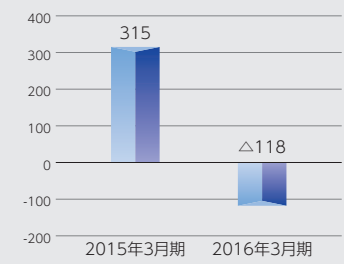
連結業績ハイライト

売上高

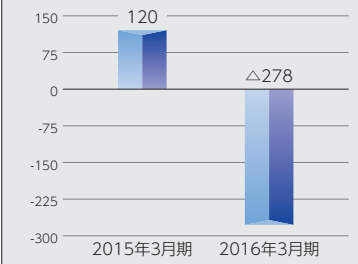
(百万円)



経常利益又は経常損失 (△) (百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失 (△) (百万円)



連結貸借対照表

(単位：百万円)

| 科目 | 当期 2016年3月31日 |
|--------------|------------------|
| 資産の部 | |
| 流動資産 | 12,797 |
| 固定資産 | 7,466 |
| 資産合計 | 20,263 |
| 負債の部 | |
| 流動負債 | 12,454 |
| 固定負債 | 2,375 |
| 負債合計 | 14,830 |
| 純資産の部 | |
| 株主資本 | 4,818 |
| その他の包括利益累計額 | 549 |
| 新株予約権 | 13 |
| 非支配株主持分 | 49 |
| 純資産合計 | 5,432 |
| 負債純資産合計 | 20,263 |

連結損益計算書

(単位：百万円)

| 科目 | 当期 自 2015年4月1日 至 2016年3月31日 |
|-----------------|-----------------------------------|
| 売上高 | 21,115 |
| 売上原価 | 16,870 |
| 売上総利益 | 4,244 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,284 |
| 営業損失 | △39 |
| 営業外収益 | 42 |
| 営業外費用 | 121 |
| 経常損失 | △118 |
| 特別利益 | 9 |
| 特別損失 | 2 |
| 税金等調整前当期純損失 | △112 |
| 法人税等 | 163 |
| 当期純損失 | △275 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 3 |
| 親会社株主に帰属する当期純損失 | △278 |

連結キャッシュ・フロー計算書

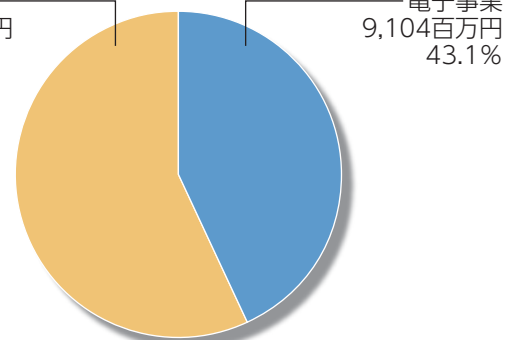
(単位：百万円)

| 科目 | 当期 自 2015年4月1日 至 2016年3月31日 |
|----------------------|-----------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,569 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △123 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △3,382 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △45 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △982 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,333 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 1,350 |

事業別売上高構成

売上高 21,115百万円

光学事業 12,010百万円 56.9%
電子事業 9,104百万円 43.1%



株式の状況

| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 50,000,000株 |
| 発行済株式総数 | 21,063,240株 |
| 株主数 | 4,421名 |

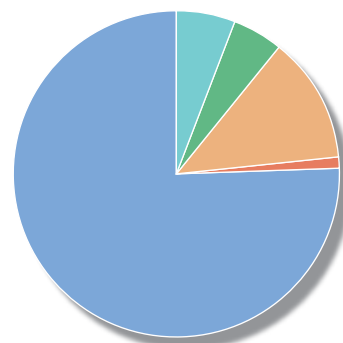
大株主

| 株主名 | 所有株式数 (千株) | 持株比率 (%) |
|-------------------------|---------------|-------------|
| 有限会社野村トラスト | 1,480 | 10.98 |
| 有限会社野村興産 | 585 | 4.34 |
| テクノホライズン・ホールディングス従業員持株会 | 438 | 3.25 |
| IDEC株式会社 | 404 | 3.00 |
| 日本証券金融株式会社 | 394 | 2.93 |
| 榑 泰彦 | 295 | 2.20 |
| 第一生命保険株式会社 | 290 | 2.15 |
| 株式会社SBI証券 | 282 | 2.10 |
| 株式会社大垣共立銀行 | 264 | 1.96 |
| 榑 信之 | 236 | 1.76 |

(注) 1. 当社は、自己株式7,585千株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別状況

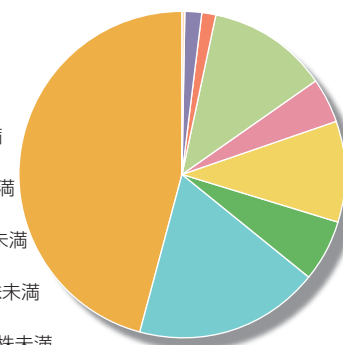
| | | |
|----------|----------|--------|
| 金融機関 | 1,257千株 | 5.97% |
| 金融商品取引業者 | 1,039千株 | 4.93% |
| 国内法人 | 2,670千株 | 12.68% |
| 外国法人等 | 228千株 | 1.08% |
| 個人・その他 | 15,866千株 | 75.34% |



(注) 自己株式7,585千株は、「個人・その他」に含めて記載しております。

所有数別状況

| | | |
|-----------------------|---------|--------|
| 100株未満 | 7千株 | 0.03% |
| 100株以上～500株未満 | 349千株 | 1.66% |
| 500株以上～1,000株未満 | 282千株 | 1.34% |
| 1,000株以上～5,000株未満 | 2,529千株 | 12.01% |
| 5,000株以上～10,000株未満 | 923千株 | 4.39% |
| 10,000株以上～50,000株未満 | 2,145千株 | 10.19% |
| 50,000株以上～100,000株未満 | 1,304千株 | 6.19% |
| 100,000株以上～500,000株未満 | 3,869千株 | 18.37% |
| 500,000株以上 | 9,650千株 | 45.82% |



2016年6月29日現在

役員紹介

| | | | | | |
|---------|-------|-----|-------|-------|-------|
| 代表取締役社長 | 野村 弘伸 | 取締役 | 豊田 彰 | 常勤監査役 | 大原 茂 |
| 常務取締役 | 水上 康 | 取締役 | 玉置 浩一 | 監査役 | 原田 彰好 |
| 取締役 | 渡邊 哲也 | 取締役 | 寺澤 和哉 | 監査役 | 飯田 浩之 |
| | | | | 監査役 | 井上 龍哉 |

※取締役 玉置 浩一・寺澤 和哉は、社外取締役です。

※監査役は全員、社外監査役です。

株主メモ

| | | | |
|------------------------|---|---------|--|
| 事業年度 | 4月1日～翌年3月31日 | 同 連 絡 先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料) |
| 定時株主総会 | 毎年6月 | 公告掲載方法 | 電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.technohorizon.co.jp (ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。) |
| 株主確定基準日 | (1) 定時株主総会、期末配当金 3月31日 (2) 中間配当を行う場合 9月30日 (3) その他必要があるときには、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。 | 株主名簿管理人 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 | | |

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

テクノホライズン・ホールディングス株式会社

〒457-0071
愛知県名古屋南区千電通(チカマトオリ)二丁目13番地1
TEL. 052-823-8551 (代)

